

あどぼ・していずんプロジェクト
シンポジウム「アドボカシーと市民社会の未来を展望する」プログラム

日時: 2025年3月22日(土) 13:30~16:30

ところ: 連合会館会議室 (シンポジウム)

登壇: 有坂美紀さん (RCE 北海道道央圏協議会、北海道 NGO ネットワーク協議会)

野川未央さん ((特活) APLA)

三木由希子さん ((特活) 情報公開クリアリングハウス)

加藤良太さん (あどぼ・していずんプロジェクト、市民社会スペース NGO アクションネットワーク (NANCIS))

小泉雅弘さん (あどぼ・していずんプロジェクト、(特活) さっぽろ自由学校「遊」)

神田浩史さん (あどぼ・していずんプロジェクト、(特活) 泉京・垂井)

助成: 一般財団法人 大竹財団

主催: あどぼ・していずんプロジェクト

プログラム:

時分	内容	所要時間
13:30	開会・イントロ<加藤>	5分
13:35	提言「ポスト2030 (SDGs) 時代の市民社会とアドボカシーを展望する」発表 ・あどぼの学校・提言書経緯・第1・2章概要 (10分) <加藤> ・1) 人々の尊厳と権利に価値をおく (5分) <加藤> ・2) 公開、参加、対話、透明性のある政治・経済・社会の仕組みをつくる (5分) <神田> ・3) 国内外の脱植民地化をすすめ、人々と暮らし、地域、世界のつながりを紡ぎ直す (5分) <小泉> ・4) 人々の参加のもとに、自然環境と人間活動の持続可能な調和を図る (5分) <神田> ・5) 民主主義の深化・進化を進める (5分) <加藤> ・補) 問われる民主主義の基盤としての市民社会 (5分) <加藤>	40分
14:15	提言へのコメント・問題提起<進行・神田> コメンテーター3名からのコメントとそれを受けての全体討議	45分
15:00	休憩	10分
15:10	提言各分野ごとに分かれての参加者グループディスカッション 1) 人々の尊厳と権利に価値をおく 2) 公開、参加、対話、透明性のある政治・経済・社会の仕組みをつくる 3) 国内外の脱植民地化をすすめ、人々と暮らし、地域、世界のつながりを紡ぎ直す 4) 人々の参加のもとに、自然環境と人間活動の持続可能な調和を図る 5) 民主主義の深化・進化を進める これらに加え、当日提案も加味してグループ分け <グループ・ファシリテーター・近藤牧子 近藤公彦 三石朱美 鉄井宣人 堀内葵>	40分
15:50	グループディスカッション共有<進行・近藤牧子、鉄井宣人>	20分
16:10	リソースパーソンから一言コメント<進行・近藤牧子、鉄井宣人>	10分
16:20	ラップアップ・今後の連絡<神田>	10分
16:30	閉会<神田>	

参考 提言「ポスト2030 (SDGs) 時代の市民社会とアドボカシーを展望する」構成案

(※現在作成中のため、一部変更になる可能性があります)

1. 市民社会とアドボカシー

- 1) 市民社会とアドボカシー序論
- 2) アドボカシーのルーツと語義、定義
- 3) 拡張するアドボカシー理解と活動
- 4) アドボカシーの本質に立ち、未来を展望する

2. 受け継がれ、アップデートされるアドボカシーの歩み

- 1) 二度と被害者を出さないために
～公害から気候変動へ～
- 2) 日本と欧米の植民地主義と途上国援助の系譜
～人々の視点でたどり直す～
- 3) 参加と対話で政策を変える
～NGOと政府の政策対話～
- 4) 人々の暮らし・地域から世界を動かす
～ローカルアドボカシーの胎動～
- 5) 新自由主義「改革」とアドボカシー
～変質し、迷走するアドボカシー～

3. ポスト2030 (SDGs) 時代の市民社会とアドボカシー

- 1) 人々の尊厳と権利に価値をおく
 - 2) 公開、参加、対話、透明性のある政治・経済・社会の仕組みをつくる
 - 3) 国内外の脱植民地化をすすめ、人々と暮らし、地域、世界のつながりを紡ぎ直す
 - 4) 人々の参加のもとに、自然環境と人間活動の持続可能な調和を図る
 - 5) 民主主義の深化・進化を進める
- 補) (アクションを構想するための架橋的内容を補筆)

以上